【伊達市】

１人１台端末の利活用に係る計画

１．１人１台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、１人１台端末を活用し、個別化学習や協働学習を推進しており、ICT環境の整備により、生徒一人ひとりの学習進度や理解度に応じた柔軟で効率的な学びを提供するとともに、オンライン授業やリモート学習を取り入れ、地域や家庭との連携を強化してきた。

今後もデジタル技術を最大限に活用し、教育環境の継続的な向上を図り、学びの質の一層の向上を実現する。

２．GIGA第１期の総括について

本市では、令和３年４月からGIGAスクール構想に基づき、小・中学校全児童生徒にタブレット端末を配布し、GIGAスクールが本格的に始まった。

端末導入にあたり、タブレット端末を円滑に活用するための研修を実施し、Googleアプリの活用方法や端末の利活用に関する研修を全教職員に対して行い、これにより、教職員はタブレット端末を授業に効果的に取り入れるためのスキルを習得してきた。

現在、タブレット端末を活用した学習計画やICT環境の整備が進み、授業においてタブレット端末は欠かせないツールとなっており、家庭への持ち帰り学習も本格的に実施され、学校外でも日常的にタブレット端末が活用され、GIGAスクール構想は学びの場を大きく変革し、児童・生徒の学びを支える重要な基盤となっている。

端末活用の充実には、計画的かつ意図的な活用計画が不可欠であり、どの教科や場面で端末を活用し、学力向上や資質・能力の育成を図るのかを明確にし、その目的に沿った活用方法を実践することが重要だと考える。

また、教員間の技術や活用意識の差を解消し、全てのクラスで平等にタブレット端末を活用できるよう、研修や支援体制の強化が求められ、これにより、児童生徒により公平で充実した学びの機会を提供することができるよう努めていく必要がある。

３．１人１台端末の利活用について

本市では、学習支援ソフト「まなびポケット」やGoogle Workspaceを活用することで、授業内外での「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を実現している。

今後も、更に充実した活用を目指し、試行錯誤を繰り返しながら、ICT活用の幅を広げていく。

また、不登校児童生徒に対しては、１人１台端末を活用することで、希望する児童生徒にオンライン授業や教育相談を提供できる環境が整っており、様々な状況にある児童生徒に対して、学習機会の確保を進めるため、端末の活用方法の周知・徹底とともに、学校における教員のICT活用をサポートしていく。

さらに、１人１台端末の利活用においては、「教育DXに係る当面のKPI」に基づき、設定された指標や目標の達成に向けて取り組んでいき、これらの取り組みを実現するためには、１人１台端末の整備・維持が不可欠であり、安定した端末の整備や更新を行い、環境の継続的な改善を進めていく。